

「ふるさと」を元気にする私の方法

「変わらなければ」とか「イノベーション」とか言われても、なかなかできない。

「新しいこと」を自らできる人は一部にすぎない。
大半の人々は、「何もしない」「受け身」が一番うれしい。＝だから、なかなか全体が活性化しない。



自分たちは、実は、すでに、凄い宝物を持っていたんだ！と、気づいてもらう。

時代の価値観とマッチする資源を発掘して、メディアを巻き込んでほめまくる＝地方発ブームの火つけ



排他的な風土がプラスに働いて、自律的な「プラスのスパイラル」が生まれる。

「自分たちの宝物だから、自分たちが守り育てなければ」と元気になる。
(地域発の資源でなければ、継続して発展できない)



時代に合った「ふるさとの価値観」が形成され、新しい歴史をつくっていく。

いつのまにか、新しい価値観が地域に根付き、地域経済も活性化されている。

事例：佐世保バーガー、さぬきうどん、ひこにゃん、うどん県（文化の価値観形成も同じ＝今年の漢字）